

# MY GUITARS

森下よしひさ '97.11

メーカー NO.	MARTIN D-18	K. YAIRI WEIR-1E
購入店	東京 神田 神保町 カワセ楽器	静岡 長沼 ベルベットサウンド
買値	¥ 200,000	¥ 110,000
買った日	1979. 4. ...頃だと思う	1996. 12.
弦	D'Addario EJ16・Phosphor Bronze/Light	
カポ	KYSER (バネの力でネックをはさむもの。友人からもらった。)	
ピック	カワセ. ヤイリ. (両方ともソフトだと思う。おにぎり型)	
エピソード	<p>当時、プロのフォークシンガー達が弾いていたアコースティックギターといえば、マーチン、ギブソン、ギルドの3大メーカーに限られていたと言っても過言ではない。</p> <p>その中でも、マーチンは名実ともにアコギの最高峰であり、あこがれてもあると同時に、貧乏学生だった自分にとっては高根の花でもあった。</p> <p>しかし、ある日、だれの言葉か忘れたが、「ギター上達の秘訣は、良いギターをもつことに限る。」という記事を目にした私は、一大決意!</p> <p>日雇いの土方仕事をまる2カ月。飯場へ泊まり込んだりしながら続け、ついにこのギターを手に入れたのである。</p> <p>以来10数年、私の青春のすべてが染み込んだMARTIN D-18は、今、ここにある。そして、これからも。</p>	<p>昨年、友人を通じて、突然ライブの話が舞い込み、その店ではエレアコしか使えないと言う。ずっとD-18ひとすじだった私は、ここらで良いエレアコがあれば買ってみようかと思ひ東奔西走したが、なかなかない。</p> <p>ある日、ベルベットのオーナーに、「安くて抜群に良い鳴りをするのがあるよ。」とカタログを見せてもらったが、この値でそんなに良い音を出すのかなあ、と半信半疑。</p> <p>数日後、店に行ってみると、なんとそのギターがあるではないか。</p> <p>しかも、見てビックリ!握ってビックリ!弾いてビックリ!D-18に勝るとも劣らない!!即断即決♪♯かくして、WEIR-1Eは、私の大切な音楽仲間の一員となり、今、ここにある。そして、これからも。</p>
手入れ	特別なことはしていないが、弾いた後は、ボディ、弦、特に指板を柔らかい布でいいねいに拭いてやっている。そして、弾かない時は、ギターケースに入れ、家の中のなるべく日の当たらない場所に置いてある。	